

# 行財政委員会

12月定例会の行財政委員会に付託された議案は13件。

12月9日に第1部で総務部・建設部所管分、第2部で市民生活部・健康福祉部・教育部所管分の審査を行いました。

## 第1部



◆議案第47号「市道の認定について」

問 鉄道事業者が主体となった場合、市道認定は必要か。

答 必要ない。

問 自由通路の要綱には3パターンあり、「鉄道事業者が主体になることもできる」とあるが、なぜ市が主体になることを選択したのか。

答 鉄道事業者からの提案ではなく、市からの発案。

問 利用者割合を考えると、鉄道事業者に主体にないこともうべき。再度交渉できないか。

答 市道として整備している。市が主体になると初めて議会に説明したのはいつか。

答 平成27年8月28日に市が道路として整備すると説明。

問 要綱を示したか。

答 示していない。

◆議案第48号「弥富市一般会計補正予算(第10号)」

問 過去の補正による財政調整基金の推移は。

答 令和2年度末12億3437万4千円、令和3年12月補正後12億5023万3千円。

## 所管質問

問 行財政アドバイザー制度による行政改革で得られた成果は。

答 令和元年度、2年度に行財政アドバイザー会議を計2回開催し、公共施設数削減の助言をもらった。

問 三ツ又池公園の維持管理費に、クラウドファンディングや自動販売機設置の使用料収入など民間資金を調達しては。

答 財政局や三ツ又池管理協議会で協議していきたくい。



▲三ツ又池公園

問 ネーミングライツ事業の実施スケジュールは。

答 令和4年1月より、事業者募集を行う。第1回目は十四山スポーツセンターとし、命名権料は年間30万円以上、契約期間は3年程度を考えている。



▲十四山スポーツセンター

問 大学等連携推進事業について、得られた成果は。

答 「弥富の金魚拡散大作戦!!」など、弥富市PR事業を学生と共に実施。

民間企業1社、私立大学1校と連携協定の話を進めている。

## 第2部



◆議案第44号「弥富市子ども医療費支給条例の一部改正について」

問 18歳までの医療費無償化は、どのようなプロセスを踏んだのか。

答 コロナ禍で、特に子育て世代は大きな影響を受けたので、子育て支援制度を拡充した。

問 拡大となる対象人数は。

答 約1270人と推計。

問 財源は。

答 全て一般財源。

問 18歳以下の既婚者は助成対象なのか。

答 婚姻により成人となるため適用しない。

問 事実婚はどのように判断するのか。

答 保険証が配偶者の扶養となった場合、配偶者と同住所に引越した場合等で確認が取れると考える。

問 18歳以下の未婚の親は助成対象となるのか。

答 未婚の母の場合は、母子父子家庭医療の受給資格者となる。

◆議案第46号「工事請負契約の変更について」

問 火葬炉解体工事請負契約変更の理由は。

答 有害物質の含有量の数値変動を見込んでいなかったため。

問 新火葬場(左) 旧火葬場(右)



▲新火葬場(左) 旧火葬場(右)

## 所管質問

問 プレミアム付き商品券の販売状況は。

答 応募セット総数2万291セット。落選数8291セット。セット数による当選率59.13%。

問 全保育所駐車場に防犯カメラを設置する考えは。

答 一部の保育所では施設建設時に防犯カメラを設置している。他の保育所には順次設置していきたい。

問 いじめ対策について、市の認識と対応は。

答 いじめアンケートをパソコン入力で記録し、原本は破棄している学校もあったが、何も記入していないことも大きな手がかりとなることもあるので、一定期間保存することを校長会を通して指示した。

問 全小中学校にスクールカウンセラーを常勤配置する考えは。

答 7人を配置し定期的に巡回して全11校を対応している。急な対応が必要な時は学校間で調整している。常勤配置をする予定はない。

◆第3部 討議・採決

付託された議案は全て原案を了承しました。



▲白鳥保育所駐車場の防犯カメラ